



DX推進に向けた取組み

Index

- 半田市医師会がめざす姿
 - [半田市医師会がめざす姿\(1.地域連携の促進\)](#)
 - [半田市医師会がめざす姿\(2.医療領域の情報化\)](#)
 - [半田市医師会がめざす姿\(3.健康経営宣言& 4.働き方改革\)](#)
- 具体的実施施策
 - [具体的実施施策\(1.地域連携の促進\)](#)
 - [具体的実施施策\(2.医療領域の情報化\)](#)
 - [具体的実施施策\(3.健康経営宣言\)](#)
 - [具体的実施施策\(4.働き方改革\)](#)
- 戦略の達成状況に係る指標
 - [戦略の達成状況に係る指標\(1.地域連携の促進\)](#)
 - [戦略の達成状況に係る指標\(2.医療領域の情報化\)](#)
 - [戦略の達成状況に係る指標\(3.健康経営宣言\)](#)
 - [戦略の達成状況に係る指標\(4.働き方改革\)](#)
- [DX戦略体制](#)

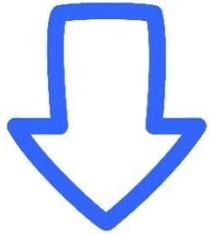


半田市医師会がめざす姿1/3

1. 地域医療連携の促進

地域医療連携システム(Dr.Web)の推進することで22社の電子カルテとの連携及び市や近隣の300カ所(2022年4月現在)以上の地域の診療所や後方医療機関における診療を支援するとともに健康管理センター、クリニック、基幹病院の地域医療連携をサポートする
※Dr.Webについて

<https://www.handa-center.jp/drweb.html>



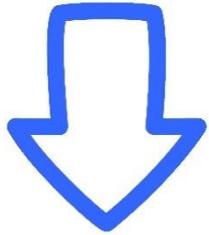
1. 地域で求められる医師会



半田市医師会がめざす姿2/3

2.医療領域の情報化

受診者の負担の軽減、重複検査の回避、診療情報の開示選択/地域における共有、各種診断精度の向上、受診者サービスの拡充



2.受診者に選ばれる医師会



半田市医師会がめざす姿3/3

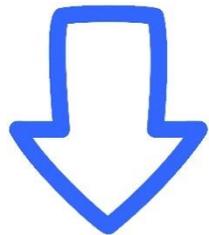
3.健康経営宣言

半田市とその近隣市町の勤労者と地域住民の健康増進を図るため、その目的の達成およびその維持または成長をする上で、職員の心身の健康が経営活力の重要な経営資源であると捉え、2022年8月に「健康経営宣言」を制定した

<https://www.handa-center.jp/attribute/declaration.html>

4.働き方改革

生産年齢人口の減少に伴う技術系職員の母数不足、生産性向上、業務効率化、設備および制度的労働環境の改善、分野を限定しない高度医療人材の社会への輩出



3&4.職員が働きやすい医師会



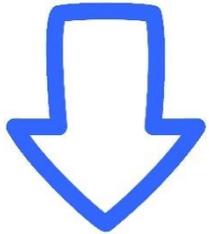
具体的実施施策1/4

1. 地域連携の促進

[DX実施施策]

以下の仕組みを推進/導入/予定

- ・ [推進] Dr.Web(地域医療連携)システム
 - ・ [予定] ネットワーク健診システムのWeb化
 - ・ [推進] 行政がん検診予約システムの拡充
 - ・ [推進] 同業関係団体への連携強化
 - ・ [予定] 指紋認証による本人認証と検査データ共有の仕組み
- …etc



[期待される効果]

医師会と地域の医療機関等での患者情報の共有化及び臨床検査や生体検査に係る業務効率化により、スムーズな病診連携、診診連携を実現します。



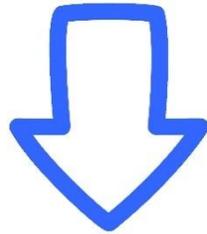
具体的実施施策2/4

2. 医療領域の情報化

[DX実施施策]

以下の仕組みを推進/導入/予定

- ・ [推進]マンモグラフィーなどVPN接続を利用した遠隔読影
 - ・ [導入]シスメックス社のSP-50により、自動再検、像染色過程の機械化
 - ・ [導入]認知機能低下の予防に向けた脳ドック用AIプログラム「Brain Life Imaging(R)」
 - ・ [導入]施設健診における受診者誘導支援システムおよびタブレット端末導入
 - ・ [予定]細菌/病理/生体検査の手書き依頼書をオンライン化
 - ・ [導入]開栓装置の導入により、5000件/日を超える作業を機械化
- …etc



[期待される効果]

医療領域や施設、設備の情報化を進めることで、情報の検索性、検査精度の向上につなげ、結果的に利便性を上げ、満足度向上につなげます。



具体的実施施策3/4

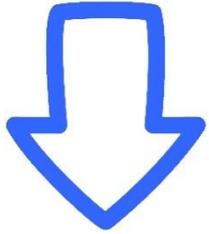
3.健康経営宣言

[DX実施施策]

以下の仕組みを推進/導入/予定

- ・ [推進]健康経営優良法人2023(大規模法人部門)に認定
- ・ [推進]健康たいけん教室のWeb教室を定期的で開催
- ・ [導入]健康づくり支援アプリ「あいち健康プラス」の導入、運動機会の創出
- ・ [導入]健康診断集計システムの内製

…etc



[期待される効果]

健康管理センターである利点を生かした充実の職員健診の実施やアクティブシニアの積極的採用による専門職等の安定確保、運動機会の創出、所内託児所運営による出産育児による離職防止を実施。顧客への健康診断集計情報の提供で健康経営活動をサポート。



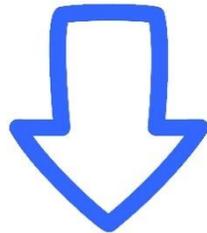
具体的実施施策4/4

4.働き方改革

[DX実施施策]

以下の仕組みを推進/導入/予定

- ・ [導入]臨床検査システム用サーバの更新
 - ・ [導入]ネットワークやサーバ機器の障害通知メールの導入
 - ・ [導入]SKYSEAを活用し、コンピュータ操作ログから労働実態を把握
 - ・ [導入]勤怠システム勤次郎とSMILEV人事給与を導入し、勤怠のリアルタイム性の向上
 - ・ [推進]Dr.Webシステム保守作業のリモート化推奨、クイックアシスト解禁
 - ・ [推進]e-Learningや所内動画配信を通じて、労働時間/各種休暇の知識の平準化推進
 - ・ [推進]情報処理安全確保支援士をはじめとした各種資格手当の拡充
- …etc



[期待される効果]

レガシーシステム/サーバの更新による非臨床業務の低減や時間外労働の上限規制の導入、年5日の年次有給休暇の取得義務化、月60時間超の割増賃金率引き上げ、フレックスタイム制の導入、男性育児休暇の取得促進、資格手当の充実等を通じ、職員が働きやすい環境をつくと共に、スキルアップしやすい環境を提供します。

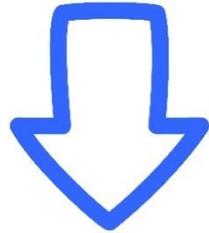


戦略の達成状況に係る指標1/4

1. 地域連携の促進に関連する指標

[現状]

- ・ 臨床検査の依頼/報告方法に紙/電話/FAX
- ・ ネットワーク健診の進捗状況が不透明
- ・ 災害時等、施設機能が停止した際にサービスが提供できない



[指標]

- ・ 利用登録機関数
- ・ 登録アカウント数
- ・ 連携電子カルテ数
- ・ 年間依頼数に占めるDr.Webによる受付の割合
- …etc

[将来]

- ・ 臨床検査ではDr.Webシステム連携することで、情報が一元化され、手作業によるミスを低減し、ペーパーレスが促進される
- ・ ネットワーク健診ではWeb予約化を推進することでこれまで不透明であった受診状況の把握、介入が必要な場合の容易なアプローチが実現される
- ・ 他施設との連携を強めることで災害時のサービスの可用性を担保できる
- ・ 災害時の電源とサーバ機能の保持に向けた設備の拡充

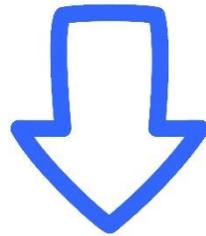


戦略の達成状況に係る指標2/4

2. 医療領域の情報化

[現状]

- ・ 指定場所でしか読影業務が行えない
- ・ 手作業による再検査、血液像染色作業、開栓作業
- ・ 受診者の誘導に大量のスタッフを配置
- ・ 細菌/病理/生体検査の手書き依頼書はDr.Web未連携



[指標]

- ・ 各種導入ツールを利用した受診者/患者数
- ・ 年度単位でのツール移行実績
- ・ 移行計画の進捗(病理、細菌のDr.Web依頼対応化)
- …etc

[将来]

- ・ 専用ツールがあれば、場所を選ばず遠隔読影が可能
- ・ 手作業による再検査、血液像染色作業、開栓作業の機械化
- ・ 受診者誘導支援システムおよびタブレット導入により、対応スタッフ数大幅減
- ・ 細菌/病理/生体検査の手書き依頼書をオンライン化

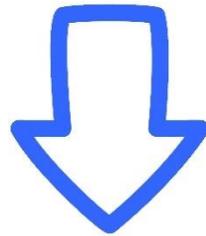


戦略の達成状況に係る指標3/4

3.健康経営宣言

[現状]

- ・健康たいけん教室はコロナにより、機会減少
- ・運動機会が少ない職員が多い
- ・職員健診の管理が紙面管理から脱却できていない



[指標]

- ・健康投資施策の取組状況
 - ・従業員の意識/行動変容
 - ・各種健康目標値(適正体重者率や高ストレス者率等)
- …etc

<https://www.handa-center.jp/pdf/dec01.pdf>

<https://www.handa-center.jp/pdf/dec02.pdf>

[将来]

- ・健康たいけん教室のWeb教室を定期的開催
- ・「あいち健康プラス」導入後は多くの職員に運動機会が創出された
- ・健康診断集計システムを内製し、健診前後のステータス管理ができる様になった
同システムは社外にも適用され、出力データは多くの企業にも提供している

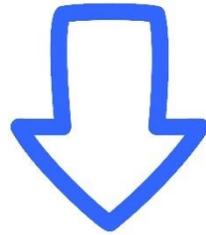


戦略の達成状況に係る指標4/4

4.働き方改革

[現状]

- ・レガシーサーバのため、処理が遅い
- ・レガシーシステムのサポート廃止
- ・診療所へのDr.Web障害対応は現場訪問
- ・有休/育休の取得率が低迷



[指標]

- ・一人あたり残業時間
- ・時間あたり労働生産性
- ・有給休暇取得率
- ・育児休暇取得率
- ・定年職員の再雇用率
- ・レガシーサーバ/システムの更新状況等
- …etc

[将来]

- ・新検査サーバになり、飛躍的に検索効率が上がった(1年分集計:1時間超→数分)
- ・「勤怠システム勤次郎」と「SMILEV人事給与」導入し、労働実態をリアルタイムで把握
- ・Dr.Webシステム保守作業のリモート化推奨、移動口数が減少
- ・e-Learningや所内動画配信を通じて、労働時間/各種休暇の知識の定着



DX戦略体制

[DX戦略推進室]

DXの課題抽出と戦略の立案を行い、戦略実行スピードの向上のために「DX戦略推進室」を新設しております。

「DX戦略推進室」は総務部、巡回健診事業部、臨床検査事業部、事務情報管理部、事務情報システム開発部で構成されており、専門職の多い医師会の特性を生かした多職種でのDX戦略を推進します。

[人材確保・育成]

先進事例の視察や医療/IT人材の双方向の展開(人事異動や共同でのプロジェクト遂行)、外部専門人材との協業や所内のDX推進の経験を通じて、必要なリテラシーやナレッジを獲得した変革をリードできる人材の確保・育成を行います。

[外部組織との関係構築・協業]

外部専門人材と協業し、最新のデジタル技術や医療業界における先進事例などの情報を収集し、導入に向けた検討を定期的を実施します。

